

編集後記

編集委員/NHK 放送技術研究所

大久保 洋幸

NHK 技研の大久保です。2014 年から JAS ジャーナル編集委員を担当させていただいています。昨年 12 月に BS4K8K 放送が開始されました。BS8K の番組は 22.2ch 音響で制作され、5.1ch、ステレオでもサイマル（同時）放送されており、BS4K でも 5.1 サラウンドの番組を楽しんでいただくことができます（JAS ジャーナル Vol.59 No.1 等の関連記事を参照）。ところで、BS4K では懐かしいドラマもリマスターされたものが放送されています。「ウルトラ Q」、「刑事コロンボ」に加え、「大草原の小さな家」がスタートしました。これらの 70 年代ドラマの挿入曲は生バンドやアナログの電子楽器による演奏、録音はアナログ録音で、ちょうどこの後、デジタル録音へと変わっていく時期になると思います。JAS ジャーナル Vol.55 No.2～Vol.56 No.5 の連載記事はこの頃の録音技術についての内容ですので参照ください。また、「スタジオの音が聴こえる」（高橋健太郎著、DU BOOKS 刊）は、当時のロックやポップスのレコード録音について知ることができる一冊です。さて、今月号の JAS ジャーナルはカーオーディオによる音の楽しみ方や、「映画を聴こうプロジェクト」の参加者のサウンドバーに対する考え方に触れることができます。また、低域の再生のリファレンスとして、低音領域に着目して制作された『音のリファレンスシリーズⅡ』の紹介もあります。昨今の様々なライフスタイルにおいて、コンテンツが持つ良い音の楽しみ方がより一層広がることを期待します。

☆☆☆ 編集委員 ☆☆☆

（委員長）松岡 文啓（三菱電機（株））

（委員）大久保 洋幸（NHK 放送技術研究所）・寺井 翔太（ティアック（株））

仲田 剛（三菱電機（株））・春井 正徳（パナソニック（株））・細谷 耕佑（三菱電機（株））

村田 明日香（シャープ（株））・吉野 修一（NTT 未来ねっと研究所（株））

ご意見・ご要望・ご質問はこちらまで：jas@jas-audio.or.jp

発行人：小川 理子

一般社団法人 日本オーディオ協会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13

電話：03-3448-1206 FAX：03-3448-1207

URL：<http://www.jas-audio.or.jp>